

乱獲が魚類の生物特性に及ぼす影響

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 米田, 道夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012380

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



乱獲が魚類の生物特性に及ぼす影響

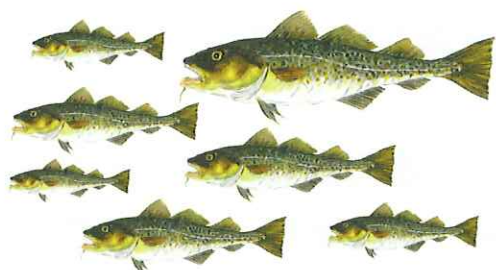
海区水産業研究部

特別研究員 米田 道夫

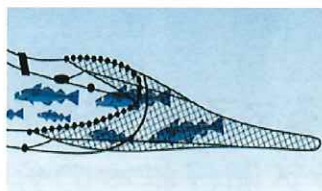
研究の背景・目的

1. 乱獲による個体群激減、遺伝的多様性消失に対する国際的懸念
2. 若齢化した産卵親魚群における再生産力の評価
3. 漁業活動と個体群の繁殖特性における因果関係の解明

● 乱獲が進むと個体群は・・・



昔（小～大型・若～高齢）



現在（小型・若齢）

研究成果

1. 北海産大西洋マダラは30年前に比べ、若齢・小型で成熟
2. 近年では体の栄養状態が悪いにも拘わらず多産
3. 産卵親魚の繁殖特性における遺伝的変化の可能性

● 乱獲によって繁殖特性は・・・

30年前



現在



性成熟（小型・若齢）



産卵数（多産）

波及効果

1. 資源管理体制の緊急的見直しと乱獲防止対策の実施
2. 現存個体群における加入量変動機構の解明